

文学も、味わう。美味しい"も、読む。

料理がキーワードとなるミステリ、食卓を通じた家族の描写、食事の様子から見えてくる流行や時代背景、好きな食べ物からわかるキャラクターの人物像……。食は文学において、時に重要な役割を果たします。和食、洋食、中華にスイーツ、なごやめし！皆さんも美味しい文学を読んで、その表現を味わってみてはいかがでしょうか。

令和4年度に開催した文学企画展「愛知の美味しい文学展」が、今回「おかわり！」として帰ってきました。太田忠司の『喫茶ユトリロ』シリーズ、水生大海の『ランチ探偵』シリーズの他、明治時代の日本にグルメブームを巻き起こした村井弦斎の小説『食道楽』など、愛知ゆかりの文学者による「食」をテーマに書かれた作品を紹介します。

また今展では、名古屋で発行された食の総合誌である「あじくりげ」や「とうかい食」があるき、作家自身の料理レシピなども紹介。さらに、かつて芥川龍之介や吉井勇など、名だたる文学者や文化人が訪れたという、今はなき名古屋の料亭・得月楼に遺っていた資料も一部展示します。

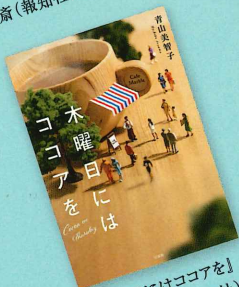
芥川龍之介書画・眠る河童図
(個人所蔵)



『ランチ探偵』
水生大海 (実業の日本社文庫)



『名古屋駅西 喫茶ユトリロ』
太田忠司 (角川ハルキ文庫)



『木曜日はココアを』
青山美智子 (宝島社)



『名古屋お疲れメシ通信』
森崎 穰 (双葉文庫)



トークイベント「“書く”なごやめし!」 11/8日 13:30~15:00

講演 / 大竹敏之 (名古屋ライター)
神風唐州 (作家・料理家)

内容 / なごやめしは書いてもおもしろい!? 文章で食べ物を紹介する際、雑誌やニュース・小説での表現の違いなどをお話いただきます。

日時 / 令和8年11月8日 (日) 13時30分~15時
会場 / 文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料 (要入館料)

定員 / 30名 ※先着順自由席 (立ち見スペース有)

出演者プロフィール

【大竹敏之 (おおたけとしゆき)】

名古屋在住のフリーライター。名古屋の食や文化に関する著作多数。著書に『間違いだらけの名古屋めし』『名古屋金シャチさんぽ』『名古屋の喫茶店完全版』などがある。

金シャチさんぽ

『名古屋の喫茶店完全版』

などがある。

【神風唐州 / Swind】

(かんなぎからす / すいんど)

作家・料理家・ライター。

名古屋めしを題材にした小説等の創作作品、コラム、エッセイなど幅広く執筆活動を行う。

代表作『異世界駅舎の喫茶店 (Swind名義)』『大須裏路地おかまい町』

地おかまい町

大須裏路地

当日は、講演者の書籍販売も開催!



Karasu Kannagi Swind

Toshiyuki Otake



『間違いだらけの名古屋めし』
(KKベストセラーズ)

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3丁目23番地

Tel & Fax 052-936-3836

<https://www.futabakan.jp/>



公式サイト



Instagram

「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」

を利用してご来館の方は入館料割引!

一般300円→240円



交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※ 駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

